

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ニコニコsmile		公表日		2025年3月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	システムでの確認、管理者の確認で二重チェックを行っている。	今後も継続して行く。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	車いす利用者が居ない為バリアフリー化はしていない。バリアフリーに関しては危険箇所をその都度無くすように環境整備は行っているがバリアフリーにはしていない。	今後、バリアフリー化が必要な場合は早急に対応する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃を行い努めている。	今後も継続して行く。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	1階にありその部屋を利用している。	今後も継続して行く。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	日々のミーティングでしていると思う。	今後も継続して行く。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	全体ミーティングで公表し改善を図っている。	今後も継続して行く。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		今後も継続して行く。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	毎年、療育アドバイザーに束所して貰い業務改善に繋げている。	今後、回数を増やして行きたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修は月に1回以上行っている。	今後、研修頻度を増やして行きたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		ホームページと事業所玄関、保護者マイページに掲載しているが口頭での説明が出来ていない為、機会があれば口頭での説明を行って行く。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		今後も継続して行く。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	ミーティングの場で検討している。	今後も継続して行く。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		今後も継続して行く。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマルなアセスメントとしてVineland-IIの使用を行っている。日々の行動観察をしてケア記録を残している。	今後、検査の種類を増やして行きたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		今後も継続して行く。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		今後も継続して行く。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		今後も継続して行く。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		今後も継続して行く。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎朝のミーティングを行っている。	今後も継続して行く。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	基本的に翌日のミーティングで行うが長期休暇時には出来ていないので送迎から帰って来て情報交換を行うようにする。朝、前日の振り返りを行っている。	支援終了後に行えるよう業務効率を向上して行きたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		今後も継続して行く。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		今後も継続して行く。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	地域交流の機会の提供に関してはやや不足している。地域交流に関しては少ないため増やして行きたい。	今後も継続して行く。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	おやつなど自分で選択する機会を日常の中で提供している。	買い物をする等行ってはいるがもう少し増やして行く。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	参加している。	今後も継続して行く。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4		今後も継続して行く。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	変更があった場合は連絡を取り合っている。	今後も継続して行く。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6	保護者を通じての情報が殆どになっている。	保育所、幼稚園、こども園にごちらから情報共有をお願いして行く。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	対象者が居ない	今後、対象者がいる場合は事業所へ情報共有を行って行く。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		必要があれば行って行く。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		連携をとり交流を行って行きたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		毎回、参加して行きたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		今後も継続して行く。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	相談時の対応を行ったり、月1回以上の研修の機会がある。相談はその都度対応している、また療育アドバイザーに来て貰い、講演会、個人相談会、研修会を行っている。	ペアレントトレーニングの重要性を説明し研修を行って行く。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		今後も継続して行く。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		今後も継続して行く。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		今後も継続して行く。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		今後も継続して行く。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	父母の会は無いものの講演会の開催等は行っている。	今後、父兄同士が交流できる催しを開催して行きたい。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		今後も継続して行く。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		今後も継続して行く。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵の付いた書庫で管理している。	今後も継続して行く。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		今後も継続して行く。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	講演会に参加の呼びかけは行っている。機会を設けて欲しい。	地域と一体になり開かれた事業所として運営して行く。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		マニュアルは策定し設置しているが周知がまだまだ出来ていなかったので行って行く。訓練等も全利用者が参加出来ないのお便り等で周知して行く。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	水害、原子力、火災の避難訓練を行っている。感染症対策訓練2回以上、BCP訓練（自然災害、感染症）を行っている。	今後も継続して行く。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	3	不十分な所がある。薬が変わった時などの状況確認はスムーズに行いたい。（予防接種も）	予防接種の情報等も確認して行く。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	保護者からの聞き取りやアセスメントが中心になっている。医師の指示書などは頂いていない	医師の指示書等があるか保護者様に確認して行く。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全確保計画は玄関に設置している。	今後も継続して行く。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	安全確保計画は玄関に設置しているが保護者への周知が不十分な所もある。	保護者様への周知、説明を行って行く。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		今後も継続して行く。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		今後も継続して行く。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	委員会などの実施はあるが、保護者への説明や了解など不十分な所がある。教室での共通理解はあるが身体拘束が必要な児童は身体拘束同意書を貰う事が出来ていない。	今後、身体拘束が必要な場合説明を十分に行い身体拘束同意書を頂くようにする。